

エコロジーガーデン周辺「道の駅」整備計画（案）に関する
パブリックコメントについて

1 実施方法、実施期間等

- ・実施期間 令和4年2月18日から令和4年3月11日まで
- ・実施方法 市内8か所に提出用箱を設置（メール、FAXでの提出可）

「エコロジーガーデン周辺道の駅整備計画（案）」に対する様々な意見を頂戴いたしました。頂いた意見は、今後の整備方法等の参考にしてまいります。ありがとうございました。

このパブリックコメント制度は、ホームページ等でもお示ししているとおり、パブリックコメント手続実施規程に基づき実施しているものであり、エコロジーガーデン周辺「道の駅」整備計画の内容について回答することとしており、実施規程では、公表することにより第三者の権利又は利益を害するおそれのあるもの、内容が計画等に合致しないもの、賛否のみを示したものについては対象外となります。

パブリックコメントの対象外の記載の部分については非公開としておりますが、この部分のご意見については、一括して市としての回答を記載しております。なにとぞご理解いただきますようお願いいたします。

2 意見の集約結果

- ・総数 211件 公表 23件
- ・このうち、「新庄市パブリックコメント手続実施規程」により公表しないこととしたもの（内訳）
 - 市民等から提出されたものか判断できないもの 38件
 - 公表することにより第三者の権利又は利益を害するおそれのあるもの 17件
 - 内容が計画等に合致しないもの 60件
 - 賛否のみを示したもの 73件
- ・意見の種類
 - ① 道の駅の場所に関する意見 17件
 - ② 道の駅の機能に関する意見 17件
 - ③ 整備に係る費用に関する意見 4件 合計38件

※1人の提出した意見の中に、上記①～③の複数に渡る意見があったため、提出された意見総数とは異なる。

<意見に対する市の考え方>

① 道の駅の場所に関する意見 17 件に対する市の考え方

「エコロジーガーデン周辺道の駅」については、これまでも駐車場が狭く、大型バスの乗り入れが出来ないことや、イベント時には駐車場への渋滞が発生すること、また、屋外トイレが不足していることなどの課題があり、多くの利用者の方からエコロジーガーデンの施設の機能拡充に関する要望が多く寄せられていました。こうした要望に応え、施設機能を強化するに当たり国との一体型での「道の駅」整備をするものです。道の駅制度を活用して駐車場とトイレ、情報発信施設を整備し、既存の施設との調和を第一に施設配置を行ってまいります。「道の駅」という新たな機能が加わることによってエコロジーガーデンの魅力の向上が図られ、また、エコロジーガーデンの既存施設と「道の駅」として整備する部分との機能を連携させることにより、「道の駅」整備のコンセプトとして掲げる「訪れる人も地域の人も楽しめる個性豊かなにぎわいの場の創出」を目指してまいります。

② 道の駅の機能に関する意見 17 件に対する市の考え方

今回お示しした整備計画を基に、いただいた意見を参考にしながら、より具体的な内容について国との協議を進めてまいります。「道の駅」整備に合わせ、既存施設へのアクセス性も考慮したうえで、車両と人との動線を分離し、安心して利用しやすい施設となるよう整備したいと考えております。

【具体的機能に関する意見】

・「防災道の駅」への登録について

まずは地域の防災機能を持つ施設として活用することで考えております。国道 13 号と隣接していることから、広い駐車場と 24 時間トイレの整備をすることで、最低限、災害時の一次的な活用が可能と考えられています。また、「新庄市洪水ハザードマップ」においては、0.5m 未満の洪水浸水想定区域となっていることから、それ以上の高さを維持した整備が必要と考えております。このようなことから、緊急的な避難場所としての利用や、物資や輸送車両などに対する中継拠点としての利用、自家発電装置や防災トイレなどの整備についても検討してまいります。

・再生可能エネルギーの活用について

再生可能エネルギーの活用については、今後の検討となりますが、太陽光パネルの設置などが考えられ、整備内容の精査や整備区分の調整などについて

て補助制度を活用する方向で国との協議を進めていくこととなりますが、このような機能について、頂いた意見も参考にいたします。

③ 整備に係る費用に関する意見 4 件に対する市の考え方

既存施設であるエコロジーガーデンの機能拡充に対し「道の駅」の制度を活用し、国との一体型での整備を進めることで市の負担を大幅に軽減することができます。仮に駐車場や屋外トイレなどを市の単独事業で整備した場合は、市が全ての経費を負担することになりますが、国との一体型での「道の駅」整備を行うことで、整備費に加え、維持管理費についても国との負担割合によることとなります。

維持管理費については、現在整備を予定する施設としては、駐車場と屋外トイレ、情報発信施設であり、主に警備、清掃、除排雪といった業務委託に係る費用を含め、およそ1千万円と想定しております。この中で、国が直轄整備する部分についての費用などについては、今後精査した後に決定することとなります。

収入の見込みについてですが、エコロジーガーデンの施設運営による使用料収入はコロナ禍の令和2年度でも約450万円となっており、エコロジーガーデンの施設使用料のみで「道の駅」の整備費用や維持管理費用を賄うことは困難であると考えておりますが、エコロジーガーデンの施設利用の拡大による使用料収入の増加のみならず、農業者等の所得向上、市民活動の広がりといった「道の駅」設置による市内全体への波及効果を生み出すことができるよう、検討を進めてまいります。

また、財源計画については、各種補助メニューの活用について国との協議の中で、今後細かな内容を協議してまいります。

3 公表しない意見の取扱いについて

「新庄市パブリックコメント手続実施規程」により公表しないこととした意見のうち、特に多く寄せられた「エコロジーガーデン付近に決定した理由・経緯」「新庄インターチェンジ付近道の駅」に関する意見に対する市の考えを示すこととしたい。

① 2つの道の駅について

市では、現在「市が主体となつてつくるエコロジーガーデン周辺道の駅」と「最上8市町村でつくる新庄インターチェンジ付近道の駅」の2つの「道の駅」の設置について考えております。

エコロジーガーデン周辺については、本市を象徴する「登録有形文化財」を活用した全国でも珍しい「道の駅」として、また、新庄インターチェンジ付近については、最上8市町村全体に効果をもたらす、情報発信機能や回遊の機能を備えた「道の駅」として、それぞれ目的や趣旨が異なる「道の駅」と捉えており、双方とも必要な施設であると考えております。

② 経緯について

平成30年6月に、学識経験者や地域の経済団体の関係者、また国や県のアドバイザーによる「道の駅外部検討委員会」により、「新庄市道の駅基本構想」を策定いたしました。この基本構想に基づき候補地を絞り込み、エコロジーガーデン周辺、県立病院予定地周辺、新庄インターチェンジ付近の3か所を候補地として選定しました。令和2年度の「道の駅」登録に向けた協議において、基本構想で選定された3か所の候補地について比較検討を行い、その結果として、第1段階ではエコロジーガーデンへの設置について調査検討を行うこと、第2段階で高規格道路の延伸に伴う誘客に向け、最上地域8市町村で協議を重ねること、としてお示ししております。

③ 新庄インターチェンジ付近について

「新庄インターチェンジ付近道の駅」については、これまで県が主導で進めておりましたが、この3月24日、最上地域の8市町村が主体となる「新庄インターチェンジ付近道の駅検討会」を設立しました。この検討会は、最上地域8市町村と「新庄もがみのランドマーク検討協議会」を構成している経済団体を主体として、国や県の考えも取り入れながら進めるような関係機関で構成しています。今後、最上地域全体に効果が及ぶよう、必要な機能や設置場所、運営の手法などについて協議検討を進めてまいります。

4 今後の予定

- ・パブリックコメントの公表（4月下旬頃を予定）

「新庄市パブリックコメント手続実施規程」に基づき、寄せられた意見及びそれに対する市の考え方を付して市ホームページにおいて公表する。